プロローグ　山西省の治安戦における宮柊二と田村泰次郎……1
歌集『山西省』に歌われた治安戦／田村泰次郎「裸女のいる隊列」に描かれた治安戦／治安戦と三光作戦

第一章　日中戦争のなかの治安戦……23

1　日中戦争の開始　24
中国における二つの戦場と治安戦／盧溝橋事件／治安維持工作の始まり

2　一九三八年の作戦と戦闘　33
長期総力戦へ／華北の占領地統治／特務機関の宣撫工作

3　一九三九年の作戦と戦闘　40
泥沼の戦争へ／天皇制集団無責任体制／重慶爆撃／汪精衛政権樹立工作／海軍の海南島占領／南寧占領と北部仏印進駐の強行／関東軍の暴走によるノモンハン事件

4　華北における治安工作の開始　55
日支新関係調整方針／「治安粛正」の目的

第二章　華北の治安工作と「第二の満州国化」……61
1　北支那方面軍の治安粛正計画　62
長期化する戦争／治安工作の思想と目的
2　北支那方面軍の軍政実施　68
抗日意識の高まり／新民会と宣撫班の統合
3　華北の「第二の満州国化」　72
華北経済の収奪的支配／県城と農村の支配／プロパガンダ工作／「第二の満州国化」構想と興亜院
4　華北における治安戦の開始　87
治安戦の開始／治安戦初期の状況
第三章　百団大戦と治安戦の本格化……91
1　一九四〇年の作戦と戦闘　92
ドイツ軍の攻勢に幻惑された日本／南進へ
2　百団大戦の衝撃　97
八路軍の攻勢／甚大な被害
3　なぜ百団大戦が発動されたか　100

華北における抗日根拠地の成立と拡大／八路軍総司令朱徳の報告／百団大戦を発動させた内外情勢

4 報復としての治安戦の本格化 112

報復作戦決行／抗日民衆対象の三光作戦

第四章 アジア・太平洋戦争と治安戦の強化 …… 121

1 一九四一年の作戦と戦闘 122

国策の奔放からアジア・太平洋戦争突入へ／「関特演」＝対ソ戦発動準備／強硬派による対米開戦決定

2 華北の総兵站基地化 129

アジア・太平洋戦争開戦／経済収奪のための治安戦／汪精衛政権の対米英参戦

3 汪精衛政権下の清郷工作 138

新四軍の勢力拡大／清郷工作

4 海南島における海軍の治安戦 140

軍事拠点としての海南島／抗日根拠地の形成

5 本土防衛のための中国戦場 142

逆転する戦争遂行の目的／膨大な犠牲を強いた大陸打通作戦

第五章　治安戦の諸相——加害者の論理と被害者の記憶……149
1　華北における治安戦の全体像　150
北支那方面軍の作戦／引用する基本史料
2　掃蕩作戦と「収買作戦」——山西省　157
山西省における掃蕩作戦／「罪悪事実」の手段と総数／被害民衆の記憶
3　無住地帯（無人区）と経済封鎖——河北省　182
治安戦遂行者の証言と回想／虐殺事件の記憶と記録／無人区と集団部落
4　細菌戦——山東省　205
魯西作戦（一九四三年秋）におけるコレラ菌作戦／記憶されなかった被害者の悲劇
5　三光作戦の被害概数　213
戦後補償要求裁判／被害総数
エピローグ　対日協力者＝漢奸たちの運命はどうなったか……219
対日協力者たちの戦後／日中戦争の実相へ
注　231